

SSR 議事録

日時 令和元年 11月18日 月曜日 19:30～

場所 ふれあい歯科五島

参加者 五島先生、栗原、胡谷、中川、高木

内容

①症例発表

「パーキンソン病を呈する介入事例 2症例」 助川クリニック 中川 真美

○症例1

食事が低下し、1ヶ月で4kg体重減少してしまった症例

問題点

・パーキンソン病による姿勢維持障害があり、背もたれがない状態では右後方にたおれていってしまう

⇒認知運動療法による感覚のアプローチが有効な可能性がある

・食事姿勢の修正を行ったが特に食事量の変化は見られず、依然として食事量の減少は続いている

⇒食事量の減少は自宅でも外食時でも見られていることから、外的要因よりも身体的要因の可能性が高いのではないか

○症例2

パーキンソン病と胸腰椎多発性圧迫骨折による姿勢維持が困難な症例

問題点

・多発性圧迫骨折による右側弯・円背により正中での姿勢保持が難しい

⇒3点で支える方法で骨盤を支えてあげることで体幹上部の筋緊張を抑えてあげることができるのではないか

・CT画像で喉頭や食道に食塊が残っているDrより言われたとのこと

⇒パーキンソン病によくみられる状態であり、今回のケースでは姿勢により胃が圧迫され食塊が入って行きづらいのではないか

次回 症例発表 k-worker 越後さんの予定

開催日 2020年 1月20日 月曜日 19:30～

場所 ふれあい歯科五島